

令和7年度 第1回佐久圏域障害者自立支援協議会全体会 次第

日 時 令和7年7月7日（月）

午後1時30分から

場 所 佐久市生涯学習センター大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 佐久圏域障害者自立支援協議会の概要について ……………資料1

5 会議事項

(1) 佐久圏域障害福祉計画・障害児福祉計画について ……………資料2

(2) 令和7年度佐久圏域障害者自立支援協議会の活動について

ア 令和7年度活動方針について ……………資料3

イ ワーキンググループ等の活動について

・市町村等事業所連絡会の開催について ……………資料3-1

・人材育成ワーキンググループの活動について ……………資料3-2

・精神障がい者ピアサポートワーキンググループの活動について ……資料3-3

・医療的ケア児等支援体制検討会の活動について ……………資料3-4

・権利擁護ワーキンググループの活動について ……………資料3-5

・発達障がいワーキンググループの活動について ……………資料3-6

・地域生活支援拠点等の整備に係る活動について ……………資料3-7

ウ 就労選択支援関係者会議の開催について ……………資料4

エ 臼田学園入所者の地域生活移行について

オ 日中サービス支援型グループホームの評価について ……………資料5

(3) 令和6年度各種実績等について ……………資料6

・佐久広域連合障害者相談支援センター相談実績

・長野県障がい児等療育支援事業相談実績

・長野県発達障がいサポートマネージャー整備事業相談実績

・障害者就業・生活支援センター事業相談実績

・市町村等事業所連絡会及び各ワーキンググループ等の活動実績

6 その他

・令和7年度第1回長野県自立支援協議会について（報告） 別冊

7 閉 会

令和7年度 佐久圏域障害者自立支援協議会委員名簿

任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日（2年）

（敬称略）

区分	NO	団体名等	所属先・氏名	備考
障がい者団体	1	市町村等 身体障害者福祉協会 等	小諸市身体障害者福祉協会 会長 柳沢 公一	
	2	重症心身障がい、医療的ケア 家族会、当事者会 等	かるがも親子の会 顧問 柳澤 恵	
	3	精神障害者 家族会、当事者会 等	ピアサポーターさく来いコイの会 代表 上野 美幸	
	4	知的障害者 家族会、当事者会 等	特定非営利活動法人 つくし（野沢共同作業センター） 理事長 佐藤 かづみ	
障がい者福祉施設等	5	障害者支援施設 （身体障害者）	社会福祉法人 横浜社会福祉協会 佐久療護園 施設長 三井 武美	
	6	障害者支援施設 （知的障害者）	社会福祉法人 からし種の会 緑の牧場学園 施設長 高橋 邦彰	
	7	障害児支援施設 （重症心身障害児・者）	独立行政法人 国立病院機構 小諸高原病院 小児科療育指導室 室長 西巻 靖和	
	8	障害者共同生活援助 （グループホーム）	社会福祉法人 育護会 浅間学園 施設長 原田 修	
	9	障害者就労支援事業所	一般社団法人 しょう 多機能型就労支援福祉サービス事業所しょう×あさま 施設長 上野 隆一	
	10	指定特定相談支援事業所	社会医療法人 恵仁会 ケイジンピアサポートセンター 主任相談支援専門員 小林 尚太	
教育	11	小諸養護学校	小諸養護学校 校長 藤澤 里美	
就労	12	佐久公共職業安定所	佐久公共職業安定所 所長 山田 孝樹	
医療	13	佐久医師会	一般社団法人 佐久医師会 会長 菅原 敏明（佐久中央医院 院長）	
行政	14	佐久保健福祉事務所	佐久保健福祉事務所福祉課 課長 井上 泰幸	
	15	佐久保健福祉事務所（保健所）	佐久保健福祉事務所健康づくり支援課 課長 松山 久美子	
	16	小諸市保健福祉部	小諸市保健福祉部 部長 大森 幸子	
	17	佐久市福祉部	佐久市福祉部 部長 小池 誠	
	18	（南佐久）障害福祉担当課	小海町町民課 課長 井出 知之	
	19	（北佐久）障害福祉担当課	軽井沢町保健福祉課 課長 上原 勉孝	
	20		社会福祉法人 小諸市社会福祉協議会 事務局長 依田 秀幸	
	21	市町村社会福祉協議会 （小諸市、佐久市、南佐久 郡、北佐久郡）	社会福祉法人 佐久市社会福祉協議会 事務局長 荻原 あゆみ	
22	社会福祉法人 佐久穂町社会福祉協議会 事務局長 岩崎 恒春			
23	社会福祉法人 軽井沢町社会福祉協議会 事務局長 篠原 幸雄			
識見者	24	識見者	学校法人 佐久学園 佐久大学 人間福祉学部 人間福祉学部長 教授 狩野 徹	
	25		学校法人 佐久学園 佐久大学 人間福祉学部 講師 林 宏二	

令和7年度 佐久圏域障害者自立支援協議会 事務局名簿

NO	名 前	役職等	所属先
1	竹 中 正文	佐久広域連合障害者相談支援センター 障がい児コーディネーター (市町村事業)	(福) 小諸学舎
2	内 堀 綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター 身体障がい者コーディネーター (市町村事業)	(社医) 恵仁会
3	小 林 こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター 精神障がい者コーディネーター (市町村事業)	(特非) ウィズハートさく
4	浅 沼 俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター 知的障がい者コーディネーター (市町村事業)	(福) 小諸学舎
5	馬 場 ひかり	ケイジンさく発達相談支援センター 療育コーディネーター (県事業)	(社医) 恵仁会
6	矢 島 克美	社会福祉法人小諸学舎 発達障がいサポート・マネージャー (県事業)	(福) 小諸学舎
7	堀 内 久美子	佐久圏域障がい者就業・生活支援センター ほーぷ 所長兼主任就業支援ワーカー (国・県事業)	(福) 佐久コスモス福祉会
8	薩 田 菜衣	佐久圏域障がい者就業・生活支援センター ほーぷ 就業支援ワーカー (国・県事業)	(福) 佐久コスモス福祉会
9	竹 内 和義	佐久保健福祉事務所福祉課 福祉第二係長	佐久保健福祉事務所
10	武 者 泰雄	佐久広域連合 事務局長	佐久広域連合
11	井 出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター 所長	佐久広域連合
12	前 田 剛	佐久広域連合障害者相談支援センター 相談支援係長兼機能強化コーディネーター (市町村事業)	佐久広域連合
13	宮 島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター (市町村事業)	佐久広域連合
14	高 橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター ピアカウンセラー 兼成年後見支援センター 後見支援係長	佐久広域連合

令和7年度 幹事会名簿

NO	名前	所属先	備考
1	大井 芳知	小諸市保健福祉部福祉課長	
2	工藤 清美	佐久市福祉部福祉課長	
3	井出 知之	小海町町民課長	
4	由井 康奈	川上村保健福祉課長	
5	荻原 炎	南牧村住民課長	
6	小平 浩二	南相木村住民課長	
7	山口 好徳	北相木村住民福祉課長	
8	中島 ゆかり	佐久穂町健康福祉課長	
9	上原 勉孝	軽井沢町保健福祉課長	
10	内堀 浩行	御代田町保健福祉課長	
11	荻原 義行	立科町町民課長	
12	竹内 和義	佐久保健福祉事務所福祉課福祉第二係長	
13	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター所長	
14	前田 剛	佐久広域連合障害者相談支援センター係長	
15	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	
16	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター	

令和7年度 市町村部会名簿

NO	名前	所属先	備考
1	堀込 まゆみ	小諸市福祉課福祉係	
2	浅川 愛	佐久市福祉課障害福祉係	
3	大工原 光一	佐久市福祉課療育支援係	
4	篠原 直也	小海町町民課社会福祉係	
5	宮田 雅和	川上村保健福祉課福祉係	
6	菊池 健一郎	南牧村住民課福祉係	
7	平林 伸健	南相木村住民課福祉係	
8	小林 雅子	北相木村住民福祉課福祉係	
9	小林 浩	佐久穂町健康福祉課福祉係	
10	外川 樹美代	軽井沢町保健福祉課福祉係	
11	竹内 奈都樹	御代田町保健福祉課福祉係	
12	羽田 徹也	立科町町民課福祉係	
13	竹内 和義	佐久保健福祉事務所福祉課福祉第二係	
14	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター所長	
15	前田 剛	佐久広域連合障害者相談支援センター係長	
16	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	
17	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター	
18	竹中 正文	佐久広域連合障害者相談支援センター 障がい児コーディネーター	
19	小林 こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター 精神障がい者コーディネーター	

20	浅沼俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター 知的障がい者コーディネーター	
21	内堀綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター 身体障がい者コーディネーター	
22	薩田菜衣	社会福祉法人佐久コスモス福祉会 佐久圏域障がい者就業・生活支援センター ほーぷ 就業支援ワーカー	
23	馬場ひかり	社会医療法人恵仁会 さく発達相談支援センター 療育コーディネーター	
24	矢島克美	社会福祉法人小諸学舎 発達障がいサポート・マネージャー	

令和7年度 人材育成ワーキンググループ名簿

No.	名前	所属先	備考
1	齋藤真理	社会福祉法人小諸学舎	小諸市・主任
2	関谷智美	相談支援事業所さくらぼ	佐久市・主任
3	小林尚太	ケイジンピアサポートセンター中込	佐久市・主任
4	岩松美栄	佐久市社協特定相談支援事業所	佐久市
5	里見理恵	人和会障がい者相談支援センター佐久	佐久市・主任
6	三井克幸	相談支援事業所 ウィズハートさく	佐久市・主任
7	松下大介	らいおんハート佐久ケアプランセンター	佐久市・主任
8	横森慎吾	相談支援事業所すみれ会	南牧村・主任
9	小須田広明	相談支援事業所らしく	佐久穂町・主任
10	小泉文宏	相談支援事業所軽井沢治育園	軽井沢町・主任
11	原田修	浅間学園相談支援事業所	軽井沢町・主任
12	鷹野由紀	御代田町やまゆり共同作業所	御代田町・主任
13	吉田浩之	たてしなホーム相談支援事業所	立科町
14	高橋優子	小諸養護学校（特別支援教育コーディネーター）	
15	二木はる菜	小諸養護学校（特別支援教育コーディネーター）	
16	内堀綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター 身体障がい者コーディネーター	
17	小林こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター 精神障がい者コーディネーター	
18	浅沼俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター 知的障がい者コーディネーター	
19	竹中正文	佐久広域連合障害者相談支援センター 障がい児コーディネーター	
20	前田剛	佐久広域連合障害者相談支援センター 機能強化コーディネーター	
21	宮島恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター	
22	高橋宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	
23	井出泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター所長	

令和7年度 精神障がい者ピアサポートワーキンググループ名簿

No.	名前	所属先	備考
1	小林穰	小諸高原病院 医療福祉相談室	
2	大谷貴咲	小諸高原病院 医療福祉相談室	
3	三井克幸	NPO法人ウィズハートさく	
4	石川輝尚	NPO法人ウィズハートさく	
5	仁科隆子	野沢地域包括支援センター	

6	小林友紀	佐久市福祉課障害福祉係	
7	伊藤健次	立科町町民課福祉係	
8	井出香恵	ピアサポーター	
9	佐藤園美	佐久大学 人間福祉学部准教授	
10	春原香奈	佐久保健福祉事務所健康づくり支援課	
11	井出泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター所長	
12	小林こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター 精神障がい者コーディネーター	
13	前田剛	佐久広域連合障害者相談支援センター係長 機能強化コーディネーター	

令和7年度 医療的ケア児等支援体制検討会名簿

No.	名前	所属先	備考
1	重田大輔	佐久医療センター 小児科	
2	小林尚太	ケイジンピアサポートセンター中込	
3	田城聡子	小諸養護学校医療的ケアコーディネーター	
4	三浦真貴	佐久総合病院訪問看護ステーション	
5	山口めぐみ	小諸市児童発達支援センター 小諸市ひまわり園	
6	西巻靖和	小諸高原病院 小児科療育指導室	
7	茂木奈津子	佐久市福祉課療育支援係	
8	渡辺知子	かるがも親子の会（保護者）	
9	神津さとみ	かるがも親子の会（保護者）	
10	竹内和義	佐久保健福祉事務所福祉課福祉第二係	
11	馬場ひかり	社会医療法人恵仁会 さく発達相談支援センター 療育コーディネーター	
12	内堀綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター 身体障がい者コーディネーター	
13	高橋宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	
14	宮島恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター	

令和7年度 権利擁護ワーキンググループ名簿

NO	名前	所属先	備考
1	堀込まゆみ	小諸市福祉課福祉係	
2	浅川愛	佐久市福祉課障害福祉係	
3	大工原光一	佐久市福祉課療育支援係	
4	篠原直也	小海町町民課社会福祉係	
5	宮田雅和	川上村保健福祉課福祉係	
6	菊池健一郎	南牧村住民課福祉係	
7	平林伸健	南相木村住民課福祉係	
8	小林雅子	北相木村住民福祉課福祉係	
9	小林浩	佐久穂町健康福祉課福祉係	
10	外川樹美代	軽井沢町保健福祉課福祉係	
11	竹内奈都樹	御代田町保健福祉課福祉係	

12	羽田 徹也	立科町町民課福祉係	
13	竹内 和義	佐久保健福祉事務所福祉課福祉第二係	
14	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター所長	
15	前田 剛	佐久広域連合障害者相談支援センター係長	
16	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	
17	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター	
18	竹中 正文	佐久広域連合障害者相談支援センター 障がい児コーディネーター	
19	小林 こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター 精神障がい者コーディネーター	
20	浅沼 俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター 知的障がい者コーディネーター	
21	内堀 綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター 身体障がい者コーディネーター	
22	薩田 菜衣	社会福祉法人佐久コスモス福祉会 佐久圏域障がい者就業・生活支援センター ほーぷ 就業支援ワーカー	
23	馬場 ひかり	社会医療法人恵仁会 さく発達相談支援センター 療育コーディネーター	
24	矢島 克美	社会福祉法人小諸学舎 発達障がいサポート・マネージャー	

令和7年度 発達障がいワーキンググループ名簿

NO	名前	所属先	備考
1	堀込 まゆみ	小諸市福祉課 福祉係	
2	大工原 光一	佐久市福祉課 療育支援係	
3	宮下 はるみ	佐久市 療育支援センター	
4	宮田 雅和	川上村保健福祉課 福祉係	
5	小泉 文宏	相談支援事業所軽井沢治育園 主任相談相談支援専門員	
6	横森 慎吾	相談支援事業所すみれ会主任相談支援専門員	
7	松下 大介	らいおんハート佐久ケアプランセンター主任相談相談支援員	
8	高橋 亜矢子	放課後等デイサービス すまいる 児童発達支援管理責任者	
9	小松 よし江	小諸市児童発達支援センター小諸市ひまわり園 園長	
10	青井 真由美	軽井沢児童発達支援センターなないろ 軽井沢センター センター長	
11	矢島 克美	長野県発達障がい情報・支援センター長野県発達障がいサポートマネージャー	
12	馬場 ひかり	さく発達相談支援センター長野県療育コーディネーター	
13	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター 所長	
14	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター	
15	内堀 綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター 身体障がい者コーディネーター	
16	浅沼 俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター 知的障がい者コーディネーター	
17	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	

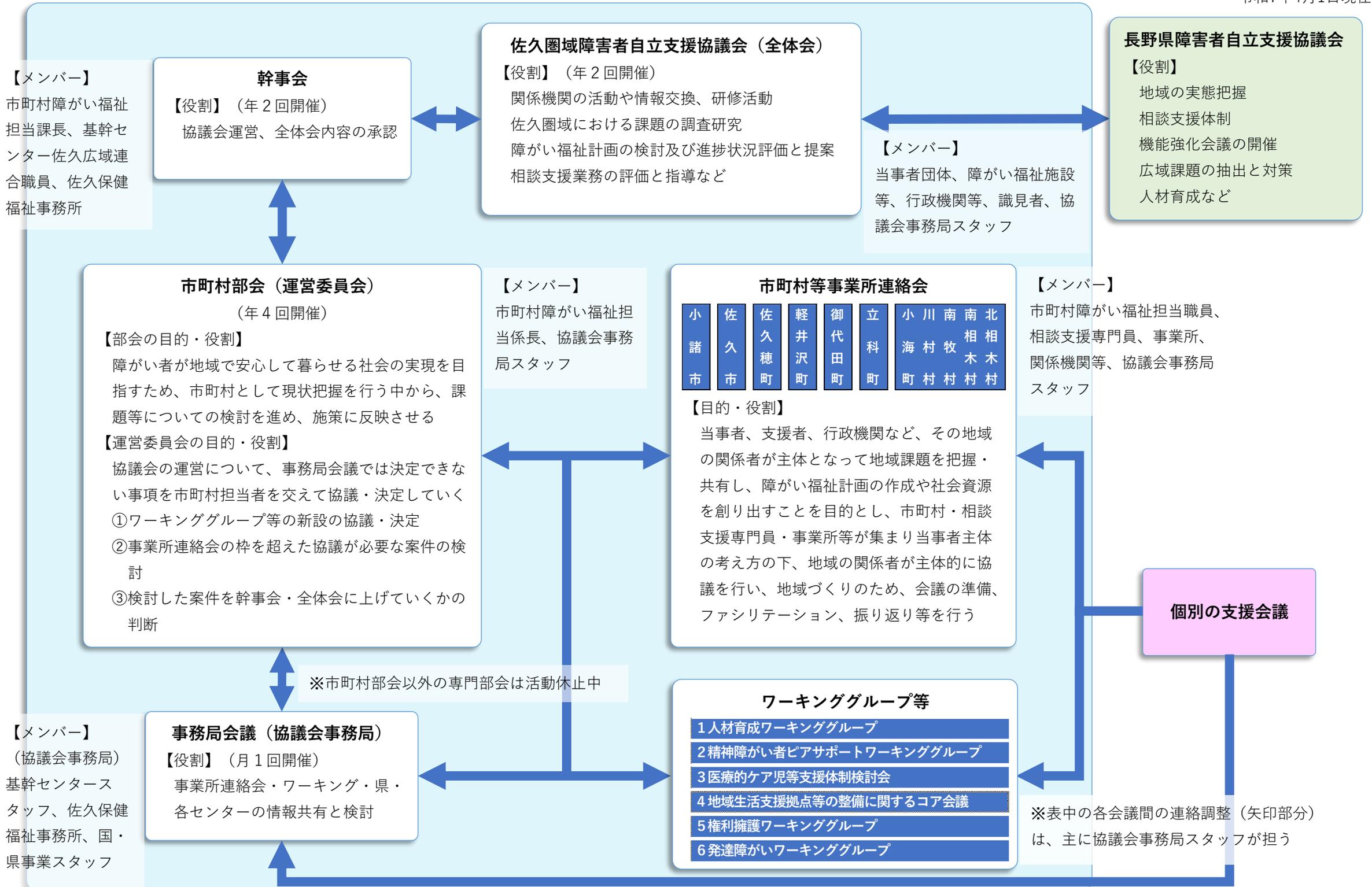
令和7年度 地域生活支援拠点等の整備に関するコア会議名簿

No.	名前	所属先	備考
1	堀込 まゆみ	小諸市福祉課福祉係	
2	浅川 愛	佐久市福祉課障害福祉係	
3	篠原 直也	小海町町民課社会福祉係	

4	宮田 雅和	川上村保健福祉課福祉係	
5	菊池 健一郎	南牧村住民課福祉係	
6	平林 伸健	南相木村住民課福祉係	
7	小林 雅子	北相木村住民福祉課福祉係	
8	小林 浩	佐久穂町健康福祉課福祉係	
9	外川 樹美代	軽井沢町保健福祉課福祉係	
10	竹内 奈都樹	御代田町保健福祉課福祉係	
11	羽田 徹也	立科町町民課福祉係	
12	小松 敏幸	社会福祉法人小諸学舎 学舎長	
13	町田 たか子	社会福祉法人小諸青葉福祉会 やまびこ園 サービス管理責任者	
14	高橋 邦彰	社会福祉法人からし種の会 緑の牧場学園 施設長	
15	早水 卓也	社会福祉法人佐久学舎 統括管理者	
16	田島 文明	佐久市臼田学園 園長	
17	木島 美佐子	社会福祉法人横浜社会福祉協会 千曲園 施設長	
18	三井 武美	社会福祉法人横浜社会福祉協会 佐久療護園 施設長	
19	井出 和美	社会福祉法人愛泉会 軽井沢治育園 園長	
20	原 田 修	社会福祉法人育護会 浅間学園 施設長	
21	飯島 英一	社会福祉法人しらかばの会 たてしなホーム 施設長	
22	木内 泰明	社会福祉法人ジェイエー長野会 はぁーと工房ポッポ 所長	
23	友野 裕行	社会福祉法人ジェイエー長野会 相談支援事業所 陽だまりの家 所長	
24	鷹野 由紀	御代田町やまゆり共同作業所（相談支援事業所） 管理者	
25	竹内 和義	佐久保健福祉事務所福祉課福祉第二係	
26	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター所長	
27	前 田 剛	佐久広域連合障害者相談支援センター係長	
28	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	
29	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター	
30	竹中 正文	佐久広域連合障害者相談支援センター 障がい児コーディネーター	
31	小林 こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター 精神障がい者コーディネーター	
32	浅沼 俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター 知的障がい者コーディネーター	
33	内堀 綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター 身体障がい者コーディネーター	
34	馬場 ひかり	社会医療法人恵仁会 さく発達相談支援センター 療育コーディネーター	
35	矢島 克美	社会福祉法人小諸学舎 発達障がいサポート・マネージャー	

令和7年度 佐久圏域障害者自立支援協議会イメージ図

令和7年4月1日現在



1 佐久圏域障害福祉計画・障害児福祉計画

(圏域構成市町村：小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町)

1 現状

(R5.5.1 時点)

圏域内総人口(R5.4.1)	202,230 人
身体障がい者・児数(R5.3 末)	8,383 人
知的障がい者・児数(R5.3 末)	2,014 人
精神障がい者・児数(R5.3 末)	2,720 人
重症心身障がい者・児数(R5.3 末)	94 人
小児慢性特定疾病医療費受給者数(R5.3 末)	181 人
特定医療費等受給者数(R5.3 末)	1,868 人
発達障がいと診断・判定を受けた児童生徒数(小中学校) (R5.8 末)	920 人
医療的ケア児数(R5.4.1)	52 人

小学校	34 校
中学校	16 校
特別支援学校	1 校
小学部	82 人
中学部	48 人
高等部	103 人
うち訪問教育対応者	9 人
うち重度重複学級在学者	14 人

※障がい者・児数は、手帳所持者

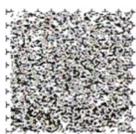
2 特性・施策の方向性等

佐久地域は南北に広く、人口の多い市部及び圏域北部に社会資源が偏る傾向にあり、地域課題が異なります。障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、適切かつ必要なサービスが身近な所で受けられるよう、圏域内の地域性を重視して市町村毎の協議体を設け、社会資源の整備や障害福祉サービス・相談支援体制の充実を図るとともに、地域を基盤に関係機関と連携して以下の施策に重点的に取り組みます。

- ① 施設入所者の地域生活への移行 ② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ③ 地域生活支援の充実
- ④ 福祉施設から一般就労への移行等 ⑤ 障害児支援の提供体制の整備等 ⑥ 相談支援体制の充実・強化等
- ⑦ 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

3 成果目標

目標項目	基準となる数値	目標割合	目標値(8年度末)
施設入所者の地域生活への移行者数	276 人(R4年度末入所者数)のうち	10.1%	28 人移行
施設入所者の減少数	276 人(R4年度末入所者数)のうち	8.0%	22 人減少
福祉施設から一般就労への移行者数	28 人(R3年度)の	1.61 倍増	45 人移行
就労移行支援から一般就労への移行者数	8 人(R3年度)の	1.75 倍増	14 人移行
就労継続支援A型から一般就労への移行者数	5 人(R3年度)の	1.80 倍増	9 人移行
就労継続支援B型から一般就労への移行者数	12 人(R3年度)の	1.58 倍増	19 人移行
目標項目	目標内容		
就労移行支援事業利用者終了者に占める一般就労への移行者の割合が5割以上の事業所割合	67%		
就労定着支援事業の利用者数	0 人(R3 年度) → 11 人		
就労定着率が7割以上となる就労定着支援事業所割合	50%		
地域生活支援支援拠点等の整備	整備数1箇所 コーディネーターの配置人数 1人 運用状況の検証等 年2回		
強度行動障がい有する者への支援体制整備	アンケート等によりニーズを把握し、圏域で支援体制を整備		
障がい児の地域社会への参加・包容(インクルージョン)を推進するための体制を構築	市町村で児童発達支援センター等を中核とし、連携体制を整備		
児童発達支援センターの設置	全市町村で利用できる体制を整備		
保育所等訪問支援を利用できる体制を構築	全市町村で利用できる体制を整備		
主に重度心身障がい児を支援する児童発達支援事業所の確保	全市町村で利用できる体制を整備		
主に重度心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所の確保	全市町村で利用できる体制を整備		
医療的ケア児等支援のための協議の場の設置とコーディネーターの配置	圏域単位で設置 コーディネーター1人配置		
基幹相談支援センターの設置	圏域で設置		



4 活動指標及び基盤整備

(年度)

(年度)

活動指標 サービス名(※1)	単位	R4 (実績)	R6 (見込)	R7 (見込)	R8 (見込)
居宅介護	時間分	3,974	4,351	4,413	4,514
重度訪問介護		2,111	3,105	3,405	3,705
同行援護		174	212	226	238
行動援護		3,021	3,173	3,271	3,329
重度包括支援		0	0	0	0
生活介護	人日分	12,143	12,441	12,642	12,808
うち重度障がい者	人分	118	123	126	135
自立訓練(機能訓練)	人日分	30	38	42	54
自立訓練(生活訓練)	人日分	188	210	243	249
うち精神障がい者	人分	15	17	19	21
就労選択支援	人分	—	—	2	6
就労移行支援	人日分	326	440	515	570
就労継続支援(A型)	人日分	600	706	731	777
就労継続支援(B型)	人日分	9,769	10,510	10,787	11,010
就労定着支援	人分	3	8	11	13
療養介護	人分	36	38	39	40
短期入所(福祉型)	人日分	388	498	530	553
うち重度障がい者	人分	20	20	21	24
短期入所(医療型)	人日分	35	54	57	58
うち重度障がい者	人分	3	5	6	7
自立生活援助	人分	0	2	4	6
うち精神障がい者		0	2	4	6
共同生活援助		276	295	305	319
うち日中サービス 支援型共同生活援助		13	18	22	28
うち精神障がい者		93	98	102	107
うち重度障がい者	16	18	19	20	
地域生活支援拠点等 (※3)	箇所 回数	1 2	1 2	1 2	1 2
施設入所支援	人分	266	263	260	255
計画相談支援		556	593	620	647
地域移行支援		1	6	7	9
うち精神障がい者		1	6	6	8
地域定着支援		1	3	4	5
うち精神障がい者	1	3	4	5	
児童発達支援	人日分	598	678	692	717
放課後等デイサービス		3,253	3,564	3,697	3,850
保育所等訪問支援		25	29	35	41
居宅訪問型児童発達支援		0	1	1	1

活動指標 サービス名(※1)	単位	R4 (実績)	R6 (見込)	R7 (見込)	R8 (見込)
福祉型障害児入所施設	人分	3	3	3	3
医療型障害児入所施設		8	10	10	10
障害児相談支援		169	203	225	241
医療的ケア児等コーディネーター 配置人数	人	1	1	1	1
ペアレントトレーニング等の受講 者数(※4)	人/年	42	47	48	49
ペアレントトレーニング等の実施 者数(※4)		5	5	5	6
ペアレントメンターの人数(※4)		3	4	4	4
ピアサポート活動への参加人数(※4)		0	1	2	3

基盤整備 サービス名	単位	R4 (実績)	R6 (見込)	R7 (見込)	R8 (見込)
生活介護	事業所数	33	34	34	35
自立訓練(機能訓練)		0	0	0	0
自立訓練(生活訓練)		2	2	2	2
就労選択支援		—	—	1	1
就労移行支援		4	3	3	3
就労継続支援(A型)		3	3	4	4
就労継続支援(B型)		30	30	31	31
就労定着支援		2	2	2	2
療養介護		1	1	1	1
短期入所(福祉型)		25	25	25	26
短期入所(医療型)		3	3	3	3
自立生活援助		0	1	1	1
共同生活援助		住居数	62	63	64
うち日中サービス 支援型共同生活援助	2		2	2	3
施設入所支援	事業所数	10	10	10	10
特定相談支援		43	43	43	45
一般相談支援 (地域移行支援)		7	7	7	7
一般相談支援 (地域定着支援)		7	7	7	7
児童発達支援		19	20	20	20
放課後等デイサービス		27	28	28	29
保育所等訪問支援		6	6	6	7
居宅訪問型児童発達支援		1	1	1	1
福祉型障害児入所施設		0	0	0	0
医療型障害児入所施設		1	1	1	1
障害児相談支援	33	34	34	36	

- ※1 活動指標 サービス名：市町村での支給決定量等を基本とした1月当たりのサービス量
- ※2 活動指標 人日分：1人の1月当たりのサービス利用日数を算出し、利用者全員分を合計したサービス量
- ※3 地域生活支援拠点等の箇所数、コーディネーターの配置人数、1年間の検証等の回数
- ※4 発達障がい者等及びその家族への支援として1年間に見込む人数



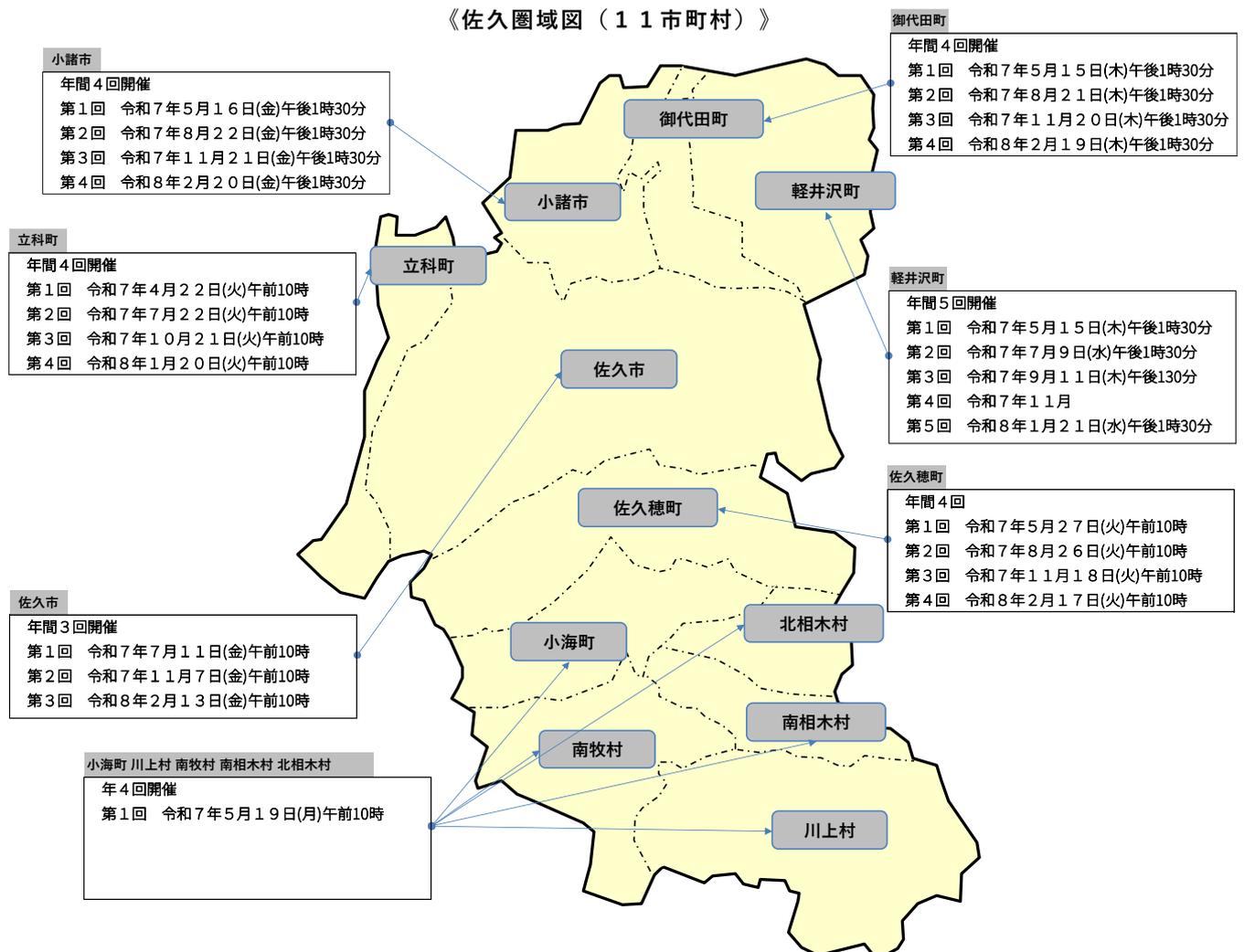
令和7年度 佐久圏域障害者自立支援協議会活動方針

- ① 市町村事業所連絡会の活性化と他協議体とのリンク（つながり）
- ② 人材育成ワーキンググループ
グループスーパービジョンの開催、事例検討会の開催、相談支援事業所訪問の取組
市町村等事業所連絡会の運営及び連携、相談支援従事者研修(法定研修)への取組
- ③ 精神障がい者ピアサポートワーキンググループ
ピアサポーター活動の支援、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に関する研修会の開催
- ④ 医療的ケア児等支援体制検討会
ネットワーク構築、レスパイトテーマ、支援者の支援活動、啓発活動
- ⑤ 権利擁護ワーキンググループ
権利擁護・虐待防止テーマの研修会開催、事業所訪問(アウトリーチ)、市町村との虐待ケースの共有
- ⑥ 発達障がいワーキンググループ
Q-SACCS の研修会、放課後等デイサービスの在り方検討
- ⑦ 地域生活支援拠点等の整備に関するコア会議等
くらし支え合いネットの協議、強度行動障害のコアチームの設置、ひとり暮らしの体験の場の設置
- ⑧ 就労選択支援関係者会議
10月スタートに向けて就労支援体制の整備のための協議、学習会の開催
- ⑨ 臼田学園入所者の地域生活移行の取組への支援

● 市町村等事業所連絡会の開催について

活性化と他協議体とのリンク（つながり）

令和7年度 佐久圏域障害者自立支援協議会 市町村等事業所連絡会開催状況



令和7年度 人材育成ワーキンググループ活動計画

1 目的

- (1) 主任相談支援専門員等の研鑽の場
- (2) 佐久圏域相談支援専門員等のスキルアップに向けた研修の企画・運営
- (3) 法定研修の圏域体制の整備
- (4) 相談支援体制の整備に関する協議の場
- (5) 障害者支援体制の整備に関する協議の場

2 事務局 佐久広域連合障害者相談支援センター

3 開催頻度 年6回(4月、6月、8月、10月、12月、2月)

4 ワーキングメンバー

No.	名 前	所属先	備 考
1	斎藤 真理	小諸学舎	小諸市
2	関谷 智美	相談支援事業所さくらぼ	佐久市
3	小林 尚太	ケイジンピアサポートセンター中込	佐久市
4	岩松 美栄	佐久市社協特定相談支援事業所	佐久市
5	里見 理恵	人和会障がい者相談支援センター佐久	佐久市
6	三井 克幸	相談支援事業所ウィズハートさく	佐久市
7	松下 大介	らいおんハート佐久ケアプランセンター	佐久市
8	横森 慎吾	相談支援事業所すみれ会	南牧村
9	小須田 広明	相談支援事業所らしく	佐久穂町
10	小泉 文宏	相談支援事業所軽井沢治育園	軽井沢町
11	原田 修	浅間学園相談支援事業所	軽井沢町
12	鷹野 由紀	御代田町社協やまゆり共同作業所	御代田町
13	吉田 浩之	たてしなホーム	立科町
14	高橋 優子	小諸養護学校(特別支援教育コーディネーター)	
15	二木 はる菜	小諸養護学校(特別支援教育コーディネーター)	
16	内堀 綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター	
17	小林 こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター	
18	浅沼 俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター	
19	竹中 正文	佐久広域連合障害者相談支援センター	
20	前田 剛	佐久広域連合障害者相談支援センター	
21	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター	
22	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター	
23	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター	

5 活動内容

- (1) 圏域における相談支援専門員等の人材育成のしくみづくり
 - ① 県人材育成部会の共有
 - ② 県機能強化会議の共有
 - ③ GSV の開催
 - ④ 各種研修会の開催
- (2) 相談支援体制の整備について
 - ① 相談支援事業所訪問(アウトリーチ)
 - ② 各事業所連絡会の組み立て、組織化
- (3) 障害者支援体制の整備について
 - ① 各事業所連絡会へのアプローチ
 - ② 各ワーキングへのアプローチ
 - ③ 協議会本会へのアプローチ

令和7年度 障害者相談支援センター 相談支援体制の充実・強化等に係わる活動について

令和7年度実施計画	
総合的・専門的な相談支援の実施	佐久広域連合障害者相談支援センター（市町村事業・基幹機能）と、療育コーディネーター、発達障がいサポートマネージャー、就業・生活支援センター等の国・県事業との連携による支援体制及び、地域の関係機関や市町村事業所連絡会等との連携による重層的、横断的な相談支援体制
地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言の回数	15事業所
地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数	10回
地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数の見込み	24回

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
主任相談支援専門員の配置人数	2人	2人	2人

○相談支援事業所訪問

- ・センターコーディネーターと主任相談支援専門員による訪問。
- ・令和7年度は15事業所への訪問をしています。

○地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数

基幹相談支援センター機能及び人材育成ワーキングにおいて、グループスーパービジョン、事例検討会、各種研修会等の企画、開催。また、相談支援従事者研修のインターバル研修の実施。

※人材育成ワーキングの開催。（センター、主任相談支援専門員、相談支援専門員 等）

○地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数

市町村等事業所連絡会の開催を実施回数としています。

○令和7年度 佐久圏域で主任相談支援専門員については、2名を予定しています。

市町村推薦について、ご配慮いただきますようお願いいたします。

※主任相談の役割

- （1）地域自立支援協議会など地域の相談支援体制について協議する場への参画及び人材育成など、地域の中核的な役割。
- （2）長野県相談支援従事者研修（令和元年度以降の相談支援従事者研修における実地教育を含む）及び相談支援従事者主任研修等における指導的役割。

令和7年度 相談支援事業所訪問先一覧（予定）

NO	実施日	所在地	訪問先(相談支援事業所)	設置主体	担当主任相談 支援専門員
1	6月20日(金) 午前10時	小諸市	相談支援事業所 ノア	(有) エイチ・シーastroベリー	齋藤 真理
2	7月1日(火) 午前10時	佐久市	人和会障がい者相談支援センター佐久	(NPO) 人和会	関谷 智美
3	7月28日(月) 午後1時30分	佐久市	緑の牧場学園 相談支援事業所	(福) からし種の会	小林 尚太
4	7月	佐久穂町	佐久穂町社会福祉協議会 指定相談支援事業所	(福) 佐久穂町社会福祉協議会	岩松 美栄
5	8月	佐久市	相談支援事業所ウィズハートさく	(NPO) ウィズハートさく	里見 理恵
6	8月6日(水) 午前10時		ケイジンピアサポートセンター中込	(社医) 恵仁会	三井 克幸
7	9月	佐久穂町	相談支援事業所らしく	(NPO) らしく	松下 大介
8		佐久市	相談支援事業所 どんぐり	(福) 佐久コスモス福祉会	横森 慎吾
9	10月		臼田学園相談支援室	佐久市	小須田 宏明
10		小諸市	ユメオイビト相談支援事業所	(一社) 地域生活サポート センター「ユメイオイビト」	小泉文宏
11	11月	南牧村	すみれ会	(NPO) すみれ会	原田 修
12		佐久市	相談支援事業所クラリス	(一社) SocilFirmJapan	鷹野 由紀
13	12月		らいおんハート佐久ケアプランセンター	(一社) 医療介護ケア協会	吉田 浩之
14		立科町	たてしなホーム 相談支援事業所	(福) しらかばの会	齋藤 真理
15	1月	佐久市	相談支援事業所 コスモス	(福) 佐久コスモス福祉会	関谷 智美

令和7年度 人材育成ワーキンググループ活動予定

1 令和7年度 人材育成ワーキンググループの開催日時（全6回）

第1回	令和7年4月28日（月）	午後3時
第2回	令和7年6月16日（月）	午後3時
第3回	令和7年8月18日（月）	午後3時
第4回	令和7年10月20日（月）	午後3時
第5回	令和7年12月15日（月）	午後3時
第6回	令和8年2月16日（月）	午後3時

2 グループスーパービジョン（ワーキング主催）の開催日時（年4回）

第1回	令和7年6月13日（金）	午前10時	齋藤氏
第2回	令和7年9月12日（金）	午前10時	小林尚太氏
第3回	令和7年11月14日（金）	午前10時	関谷氏
第4回	令和8年2月20日（金）	午前10時	里見氏

3 小諸養護学校グループスーパービジョン

日時	令和7年8月19日（火）	午後1時30分
場所	小諸養護学校（小諸市大字市字中原 824-3）	

4 相談支援事業所訪問

別紙 令和7年度指定相談支援事業所訪問予定表のとおり

5 令和7年度相談支援従事者研修の現地実習（インターバル）

【初任者研修】

第1回目

日時	令和7年8月7日（木）	10時00分
場所	佐久市振興公社ビル2階共同会議室	

第2回目

日時	令和7年9月4日（木）	10時00分
場所	佐久市振興公社ビル2階共同会議室	

【現任者研修】

第1回目

日時	令和7年9月22日（木）	10時00分
場所	佐久市振興公社ビル2階共同会議室	

6 その他

困難ケースの事例検討会（基幹センター主催）の開催日時（年6回）

第1回	令和7年5月28日（水）	午前10時
第2回	令和7年7月30日（水）	午前10時
第3回	令和7年9月24日（水）	午前10時
第4回	令和7年11月26日（水）	午前10時
第5回	令和8年1月28日（水）	午前10時
第6回	令和8年2月25日（水）	午前10時

令和7年度 精神障がい者ピアサポートワーキンググループ活動計画

- 1 目的 (1)ピアサポーター活動の体制整備に関する協議と運営。
(2)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に関する研修会等の開催に関する協議と運営。
(3)佐久圏域の精神障がいに関する調査研究。
(4)その他、地域移行地域定着の促進を図るにあたり課題の共有等。
- 2 事務局 佐久広域連合障害者相談支援センター・健康づくり支援課
- 3 開催頻度 年5回（5月、7月、9月、11月、1月）
- 4 ワーキングメンバー

(敬称略)

No.	名前	所属先	備考
1	小林 穰	小諸高原病院 医療福祉相談室	
2	大谷 貴咲	小諸高原病院 医療福祉相談室	
3	石川 輝尚	NPO法人ウィズハートさく	
4	仁科 隆子	野沢地域包括支援センター	
5	小林 友紀	佐久市福祉課	
6	伊藤 健次	立科町健康福祉課	
7	井出 香恵	ピアサポーター	
8	佐藤 園美	学校法人 佐久大学	
9	三井 克幸	学校法人 佐久大学	
10	春原 香奈	健康づくり支援課（佐久保健所）	
11	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター	
12	小林 こず枝	佐久広域連合障害者相談支援センター	
13	前田 剛	佐久広域連合障害者相談支援センター	

5 活動内容

- (1) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築に関する研修会等を開催して、支援体制の整備の促進を図る。
- (2) ピアサポーターの活用促進を図るため、ピアサポーターの有用性等を理解していただく取り組みを行う。
 - ア ウェブミーティング、院内説明会の継続的な開催
 - イ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に関わる協議の場への参加
 - ウ 第3回ピアサポーター養成研修の開催
- (3) 体験の場の協議

令和7年度 医療的ケア児等支援体制検討会活動計画

1. 目的

佐久圏域の医療的ケア児者・重症心身障害児者（以下「医ケア児等」という。）及びその家族の地域生活に関して、多職種が集まり支援者同士のネットワーク構築、情報共有を図り、家族の介護負担軽減のためのレスパイト資源の不足や災害対策をはじめとする地域生活における課題の解消に必要なシステム等について協議、検討、実施する。

2. 事務局 佐久広域連合障害者相談支援センター

3. 開催予定 年5回（5月23日、7月25日、9月26日、12月26日、2月27日） 第4金曜日 13:30～15:30

4. 検討会メンバー

No.	名前	所属
1	重田 大輔	佐久医療センター 小児科
2	小林 尚太	ケイジンピアサポートセンター中込
3	田城 聡子	小諸養護学校医療的ケアコーディネーター
4	三浦 真貴	佐久総合病院訪問看護ステーション
5	山口 めぐみ	小諸市児童発達支援センター 小諸市ひまわり園
6	西巻 靖和	小諸高原病院 療育指導室
7	馬場 ひかり	さく発達相談支援センター（療育コーディネーター）
8	茂木 奈津子	佐久市福祉課
9	竹内 和義	佐久保健福祉事務所 福祉課
10	渡辺 知子	かるがも親子の会（保護者）
11	神津 さとみ	かるがも親子の会（保護者）
12	内堀 綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター（身体障害コーディネーター）
13	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター相談支援係
14	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター（医療的ケア児等コーディネーター）

5. 活動内容

- （1）佐久圏域の医療的ケア児等支援システムの明確化と周知、社会的理解啓発を促進するためのパンフレット作成に関する協議、検討。
- （2）多分野にわたる支援者の理解促進と連携のために必要なネットワークの構築およびレスパイト等の地域資源について協議の場を設け、受け入れ促進や新たな資源開発につなげる協議、事例検討。
- （3）医ケア児等に関わる支援者のスキルアップ、意識向上、および当事者とその家族に関する社会的理解の促進を図るための協議、研修会の企画運営。

医療型短期入所（レスパイトサービス）に関する関係機関連絡会 意見等まとめ

開催日 令和6年12月26日(木)

参加者 浅間病院、小諸高原病院、ほっちのロッヂ、佐久医療センターから医師、看護師、MSW、
検討会メンバー

○かるがも親子の会の意見

親や子どもが具合悪いときこそ預かってもらいたい。体調が良くなるまで家にこもりきり。
緊急時の利用、両親の介護や冠婚葬祭等の際に預かっていただきたい。
土曜日の事業所利用ができなくなってしまった。土日外出できない。
レスパイト先が増えて欲しい。小諸高原病院は利用制限がかかっている。
浅間病院、包括ケア病棟のレスパイトありがたい。
将来的には家の近くで入所できれば良い。

Q:佐久医療センターの入院は外部からの受け入れはしていないのか？

A:NICU 退院児という条件で運用している訳ではないが、現状、退院児をすべて網羅できている
訳でもない。

○浅間病院

週末、長期連休の希望多いが、スタッフの休み希望も多いのでレスパイト受け入れるため休みを返
上して対応している。
カニューレの抜去等があるお子さんと、夜勤者1名だとストレスがかかる。

○小諸高原病院

週末希望多い。満床になる。平日は空くこともある。
動く医ケア児多い。スタッフも苦慮している。

○佐久医療センター

動けるお子さんは1対1の対応が必要。親の辛さも分かるが現実的には他の入院患者もいるので
申し訳ないけど預かれないとお断りをしている。

○ケイジン井出さん

分担しながらやっていかないと解決しないと思う。
受け入れているお子さんの情報共有できるようなシステムがあればいいか。
皆さんが工夫し合えればいいと思う。

○児童発達支援センター ひまわり園 小松園長

病院の苦労や工夫なさっているところを教えて頂いて良かった。
平日なら利用できるという話もあったので、そういう相談もしていきたい。

Q:佐久地域に医ケア児者何人いるか？

A:障がい福祉計画上は52名。医ケア児 Co の関りは67名。

Q:人口比として他の地域と比べて施設数は多いのか少ないのか？

A:北信なし、飯伊1箇所。よその地域と比べて施設数は多い。
人口比では多い少ないはない。

Q:土日の需要は全体的に高いのか?

A:利用者によるが土日は多い。(小諸高原)

Q:マンパワーを補充するための支援策は何かあるか?(資金等)

A:医療型短期入所の開設についての補助金は国で持っている。「医療的ケア児等総合支援事業」の中で「医療的ケア児等を一時的に預かる環境の整備」という項目がある。市町村を通して総合支援事業を活用できるのではないか。

来年度予算は無理。再来年以降可能性あるか。市町村と検討する必要がある。

Q:佐久市から依頼でレスパイトを始めたが市町村は制度を承知していないのか?

A:浅間病院のレスパイトが始まったころは制度がなかった。補助金の条件が厳しい。

Q:市町村からの支援は望めるのか?

A:今のところ支援している現状はないと思う。

Q:今の現状等は上にあがっているのか?

A:自立支援協議会を活用して上げていくことになると思う。

Q:病院と市町村との協議の場というものはあるのか?

A:おそらくないと思う。個別の対応はあるが組織的な対応はない。

この連絡会の中でできることは、市町村部会や幹事会に話を上げていくこと。

自立支援協議会の枠組みでは各市町村ごとに協議体を置いている。課題共有はそういうところを使えば良いと思う。

医療的ケア児のレスパイトのテーマはかなり前からあるが、現状はなかなか進まない。

Q:過去の会議内容は上に上げたことはあるか?反応はあるか?

A:レスパイトテーマでは事務局が知る限りはない。

市町村からの補助に繋がっていない。

こういう現状があるということを社会の中で共有できるような機会があれば良い。

浅間総合病院でレスパイトを始めた経緯はわかるが親子の会の声が届いたからだと思う。

社会資源が増えたことは良かったが、運営している皆さんの苦労は市町村に届いていない。

今の苦労を市町村にソーシャルアクションで届けることが必要。

Q:次回のこの会に市町村の方に参加してもらうのはどうか?

A:市町村の参加も考えていきたい。

市町村を含めた会議の場を設定したい。

スタッフの皆さんの負担感、不安感が多いという話であった。

親の負担感が大きいのはお風呂。平日のお風呂の負担を減らす取り組みもある。

令和7年度 権利擁護ワーキンググループ活動計画

1 目的

障害者虐待防止法及び障害者差別解消法等に関し、市町村・関係機関・障がい福祉サービス事業所・地域住民等への意識改革に取り組むとともに、障がい児者の権利擁護及び、意思決定支援に対する意識の醸成を図る。

2 事務局 佐久広域連合障害者相談支援センター

3 開催頻度 年4回程度 市町村部会に続いて同日開催

4 ワーキングメンバー（市町村部会員）

NO	氏名	所属
1	堀込 まゆみ	小諸市 福祉課福祉係
2	浅川 愛	佐久市 福祉課障害福祉係
3	大工原 光一	〃 福祉課療育支援係
4	篠原 直也	小海町 町民課社会福祉係
5	宮田 雅和	川上村 保健福祉課福祉係
6	菊池 健一郎	南牧村 住民課福祉係
7	平林 伸健	南相木村 住民課福祉係
8	小林 雅子	北相木村 住民福祉課福祉係
9	小林 浩	佐久穂町 健康福祉課福祉係
10	外川 樹美代	軽井沢町 保健福祉課福祉係
11	竹内 奈都樹	御代田町 保健福祉課福祉係
12	羽田 徹也	立科町 町民課福祉係
13	竹内 和義	佐久保健福祉事務所 福祉課福祉第二係
14	井出 泰章	佐久広域連合 障害者相談支援センター所長
15	高橋 宣夫	佐久広域連合 障害者相談支援センター
16	前田 剛	〃 機能強化コーディネーター
17	宮島 恵理子	〃 医療的ケア児等コーディネーター
18	竹中 正文	〃 障がい児コーディネーター
19	小林 こず枝	〃 精神障がい者コーディネーター
20	浅沼 俊一	〃 知的障がい者コーディネーター
21	内堀 綾美	〃 身体障がい者コーディネーター
22	薩田 菜衣	社会福祉法人コスモス福祉会佐久圏域障がい者就業・生活支援センター ほーぶ
23	馬場 ひかり	社会医療法人恵仁会 療育コーディネーター
24	矢島 克美	社会福祉法人小諸学舎 発達障がいサポートマネージャー

5 活動内容

- (1) 障がい児者の権利擁護・虐待防止・意思決定支援に関する研修会、学習会の開催。
- (2) 佐久圏域における障がい福祉サービス事業所への訪問事業の実施。
- (3) 各市町村の虐待事例に対する対応等の共有。
- (4) 長野県自立支援協議会権利擁護部会との情報共有。
- (5) 障がい者差別解消法に係わる協議。

権利擁護ワーキンググループで実施する権利擁護に係る事業所訪問について

事業の目的としては、佐久圏域内での度重なる障害者虐待の発生を受け、何かしらのアプローチが必要という考えから、権利擁護・虐待テーマの事業所訪問を愛知県豊橋市の取り組みをモデルに開始しました。事業所が相談支援しやすいように市町村、基幹相談支援センターの関係づくりを目的とし権利擁護・虐待防止に関する事業所での取り組み、課題等を教えてもらうことを中心に意見交換をする形で行いました。

本事業所訪問を行っての印象は、権利擁護・虐待防止の取り組みもそれぞれであり、権利擁護・虐待防止に対する意識は高いと感じている。一方で、その取り組みでよいのか、よりよい取り組みがないのかという不安、悩みを抱えていることがわかりました。また、事業所から日頃の支援の様子を話してもらう、言語化してもらうことで振り返りができたという声が聞かれました。支援の振り返りにより、気づきが得られ自己変容につながる機会となっていると感じました。

このように、行政、基幹相談支援センター、事業所の3者で権利擁護・虐待防止の取り組みを共有することは、権利擁護意識の向上、虐待防止につながる有益なことだと実感しておりますので、引き続き実施してまいりたいと考えております。

令和6年10月から開始した権利擁護・虐待防止テーマの事業所訪問は昨年度13事業所への訪問を実施しました。

<訪問先>

NO	実施日	訪問先	市町村
1	令和6年10月10日(木)	中込共同作業センター	佐久市
2	令和6年10月11日(金)	小諸みかげ	小諸市
3	令和6年10月16日(水)	リカバリープレイス伊勢腰	小諸市
4	令和6年10月18日(金)	岩村田共同作業センター	佐久市
5	令和6年11月28日(木)	GENKI A型	御代田町
6	令和6年11月28日(木)	GENKI B型	御代田町
7	令和6年12月3日(火)	陽だまりの家 (放デイ、地活、B型、生活介護)	佐久穂町
8	令和6年12月20日(金)	すみれ会	南牧村
9	令和6年12月23日(月)	軽井沢町地域活動支援センター	軽井沢町
10	令和7年1月22日(水)	ライフサポートハウス太陽 (グループホーム)	小海町
11	令和7年1月28日(火)	小海町ひまわりわーくす B型	小海町
12	令和7年1月28日(火)	放課後等デイサービス スマイル	小海町
13	令和7年2月12日(水)	たてしなホーム (入所、グループホーム、生活介護)	立科町

令和7年度 発達障がいワーキンググループ活動計画

1 目的

佐久圏域における発達障がいの方への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携を図りながら地域の実情に応じた発達障がいの方への支援体制を整備することにより、佐久圏域の発達障がいの方がその人らしく生活できることを目指すための活動を行うことを目的とする。

2 事務局 佐久広域連合障害者相談支援センター

3 開催頻度 年4回（内1回は研修会を予定）

第1回 令和7年6月4日(水)

第2回 令和7年8月21日(木)

第3回 令和7年10月6日(月)研修会

第4回 令和8年1月13日(火)

4 ワーキングメンバー

(敬称略)

NO	氏名	所属機関・役職等
1	堀込 まゆみ	小諸市（福祉課福祉係長）
2	大工原 光一	佐久市（福祉課療育支援係長）
3	宮下 はるみ	佐久市（療育支援センター）
4	宮田 雅和	川上村（保健福祉課福祉係長）
5	小泉 文宏	軽井沢治育園 主任相談支援専門員
6	横森 慎吾	すみれ会主任相談支援専門員
7	松下 大介	らいおんハート佐久ケアプランセンター主任相談支援専門員
8	高橋 亜矢子	小海町社会福祉協議会 放課後等デイサービス すまいる
9	小松 よし江	小諸市児童発達支援センター小諸市ひまわり園 園長
10	青井 真由美	軽井沢児童発達支援センター なないろ 軽井沢センター長
11	矢島 克美	長野県発達障がい情報・支援センター発達障がいサポート・マネージャー
12	馬場 ひかり	さく発達相談支援センター療育コーディネーター
13	井出 泰章	佐久広域連合障害者相談支援センター
14	高橋 宣夫	佐久広域連合障害者相談支援センター
15	宮島 恵理子	佐久広域連合障害者相談支援センター
16	内堀 綾美	佐久広域連合障害者相談支援センター
17	浅沼 俊一	佐久広域連合障害者相談支援センター

5 活動内容

- (1) 佐久圏域において切れ目のない支援体制の整備に係わる取り組み。
- (2) 発達障がいの二次障害の予防、発達障がいの理解促進に係わる取り組み。

令和7年度地域生活支援拠点等の整備に関するコア会議 活動計画

1 目的

- (1) 障がい者の高齢化、重症化、親亡き後を見据え、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供の仕組みをつくる。
- (2) 地域の特性を踏まえ、①相談 ②緊急時の受入れ ③体験の機会・場 ④専門的人材の確保・養成等
- (3) 暮らし支え合いネット体制整備について再度見直しを行い、体制の整備を行う。
- (4) 強度行動障がいの状態にある者への支援体制整備。(支援ニーズの把握と支援体制の整備)

2 事務局 佐久広域連合障害者相談支援センター

3 開催頻度 年2回(9月、1月)

4 コア会議メンバー(別紙のとおり)

5 活動内容

- (1)強度行動障がいの方の調査・体制整備
- (2)強度行動障がいワーキングチーム(仮)の運営
- (3)暮らし支え合いネット(緊急時受け入れ態勢)の課題共有・体制整備。
- (4)一人暮らし等地域移行のための体験の機会、場の整備に関する協議。

令和7年度 地域生活支援拠点等の整備に関するコア会議名簿

(敬称略)

	氏名	所属・役職	備考
市町村	1	堀込 まゆみ	小諸市保健福祉部福祉課福祉係
	2	浅川 愛	佐久市福祉部福祉課障害福祉係
	3	篠原 直也	小海町町民課社会福祉係
	4	宮田 雅和	川上村保健福祉課福祉係
	5	菊池 健一郎	南牧村住民課福祉係
	6	平林 伸健	南相木村住民課福祉係
	7	小林 雅子	北相木村住民福祉課住民福祉係
	8	小林 浩	佐久穂町健康福祉課福祉係
	9	外川 樹美代	軽井沢町保健福祉課福祉係
	10	竹内 奈都樹	御代田町保健福祉課福祉係
	11	羽田 徹也	立科町町民課福祉係
障害者支援施設	12	小松 敏幸	(福)小諸学舎 学舎長
	13	町田 たか子	(福)小諸青葉福祉会 やまびこ園 サービス管理責任者
	14	高橋 邦彰	(福)からし種の会 緑の牧場学園 施設長
	15	早水 卓也	(福)佐久学舎 統括管理者
	16	田島 文明	佐久市臼田学園 園長
	17	木島 美佐子	(福)横浜社会福祉協会 千曲園 施設長
	18	三井 武美	(福)横浜社会福祉協会 佐久療護園 施設長
	19	井出 和美	(福)愛泉会 軽井沢治育園 園長
	20	原田 修	(福)育護会 浅間学園 施設長
21	飯島 英一	(福)しらかばの会 たてしなホーム 施設長	
拠点等届出相談支援事業所(入所施設除く)	22	木内 泰明	(福)ジェイエー長野会 はあーと工房ポッポ 所長
	23	友野 裕行	(福)ジェイエー長野会 相談支援事業所 陽だまりの家 所長
	24	鷹野 由紀	御代田町やまゆり共同作業所(相談支援事業所) 管理者
長野県	25	竹内 和義	佐久保健福祉事務所 福祉課福祉第二係 係長
事務局	26	井出 泰章	佐久広域連合 障害者相談支援センター 所長
	27	前田 剛	〃 係長
	28	宮島 恵理子	〃 医療的ケア児等コーディネーター
	29	竹中 正文	〃 障がい児コーディネーター
	30	小林 こず枝	〃 精神障がい者コーディネーター
	31	浅沼 俊一	〃 知的障がい者コーディネーター
	32	高橋 宣夫	佐久広域連合 後見支援係長
	33	内堀 綾美	〃 身体障がい者コーディネーター
	34	馬場 ひかり	ケイジンさく発達相談支援センター療育コーディネーター
	35	矢島 克美	(福)小諸学舎発達障がいサポート・マネージャー

佐久圏域における就労選択支援制度の体制整備について

令和7年1月20日

1 過去の経過

平成27年4月より、就労継続支援B型事業所の利用者について、就労アセスメントを就労移行支援事業所が行うことが必須となる。当時、佐久圏域には就労移行支援事業所が1箇所しかなく、就労アセスメントを希望する人の対応ができないでいる状況であった。また、養護学校保護者への説明も不十分であった。そのような中、就労支援部会では「就労アセスメント体制整備ワーキング」を設置し、小諸養護学校生徒の個別ケースの調整と佐久圏域内での体制整備に向けて協議を進めることとなった。

日程	会議名	内容
平成27年 7月6日 8月4日 8月18日 9月3日 9月29日 10月31日 12月4日	県就労支援部会との情報交換会 第1回ワーキング 第2回ワーキング 第3回ワーキング 第4回ワーキング 第5回ワーキング 第6回ワーキング	ワーキングでは、就労アセスメントのフロー図の作成、京都方式の検討、実際の就労アセスメントが必要な養護の生徒と事業所の調整を行う。
平成28年 1月21日 3月14日	第7回ワーキング 第8回ワーキング	1月19日小諸養護学校行政説明会 ひゅーまにあ軽井沢参加
平成29年 4月11日 6月27日 8月22日 10月31日 1月18日 3月21日	第1回ワーキング 第2回ワーキング 第3回ワーキング 第4回ワーキング 第5回ワーキング 第6回ワーキング	小諸市企業センター参加 10月21日小諸養護学校行政説明会
		①4月、ほーぷでは人員配置が整わず就労アセスメントはとれない。 ②5月頃までに、就労移行支援事業所が3箇所に増える。(小諸市福祉企業センター、ワークサポートこすもす、ひゅーまにあ軽井沢)
5月15日	第1回ワーキング	就労アセスの個別ケースの調整に時間がかかり体制整備についての協議の時間が取れないため、体制整備コア会議を設置し協議を進めていく。
平成29年 7月21日	第2回ワーキング、第1回コア会議	国からの通知により、就労アセスメントの機会が広がったため体制の検討を始める。(みなシアセスメント)
8月29日	第2回コア会議	小諸養護学校での実習をアセスメントとみなすことについての検討
9月13日	第3回コア会議	みなシアセスメントの導入についての検討

10月27日	第4回コア会議	みなしアセスメントの導入決定 11月2日小諸養護学校行政説明会
平成30年 1月23日	第5回コア会議	みなし導入についての検討。平成30年度より就労移行支援とみなしを並行してアセスメントをとっていく。
4月	みなし就労アセスメント開始	

2 モデルケースの報告から見てきた課題

【養護学校】

- ・校内の理解、対象者への丁寧な説明が必要。
- ・会議の参加者が増えるため、参加者への連絡、日程調整を簡素化することが必要。

【アセスメント事業所】

- ・打ち合わせ、調整、評価シートの作成等全体的な業務量は多く、1件のアセスメントに必要とする時間が多いため、実施できる件数が限られる印象がある。

【相談支援事業所】

- ・会議等の進行主体が不明。一般対象者はどうなるのか？関係者が増えると会議設定が難しい。

【まとめ】

- ・基本的には就労アセスメントの課題の解消には至らず大差はないと思われ、逆にプロセスの複雑さが気になる。だからこそ根本的に議論と見直しをして対策していく必要性を感じる。

3 佐久圏域の就労選択支援について

- ①佐久圏域の現在の状況として、就労移行支援事業所が3箇所（小諸市福祉企業センター、ワークサポートこすもす、しょう×あさま）あるが就労選択支援事業所として事業を始めるかどうか、また、その他の事業所が新たに手を上げるかは不透明である。
- ②佐久圏域の体制整備を考えていくうえで関係者が集まったの協議は必須であると考える。
- ③まだ制度の全容が分かっておらず現在のみなしアセスメントが継続して利用できるかは不明であるが、みなしアセスメントは佐久圏域独自の制度であり、継続についても協議していく必要があると考える。

4 今後の予定

- ・関係者会議（コア会議）の開催（案）

メンバー案：市町村（小諸市、佐久市、南佐久、北佐久）、障がい者就業・生活支援センター、小諸養護学校、障害者相談支援センター等

開催時期：第1回令和7年3月～4月頃、その後状況に応じて随時開催

協議内容：佐久圏域内の就労選択支援に係る体制整備及びみなしアセスメントの継続について

4月～：市町村等事業所連絡会

5月：市町村部会、幹事会

5月22日（木）：小諸養護学校行政説明会

7月：佐久圏域障害者自立支援協議会全体会

10月～：就労選択支援制度開始

} 適宜情報共有と協議

令和6年度市町村等事業所連絡会開催状況

小諸市

参加者:市内障害福祉サービス事業所、障害福祉担当課、佐久保健福祉事務所、
基幹相談支援センター

コア会議メンバー:卯の花作業所、小諸市地域活動支援センター、小諸市福祉課、
ウイズハートさく、小諸学舎(主任)、基幹相談支援センター

第1回:令和6年5月24日(金)(コア会議:令和6年4月23日(火))

- (1)今年度の連絡会について
- (2)今年度のテーマを考えよう!(グループワーク)
- (3)権利擁護テーマの事業所訪問について

事例検討から、地域課題を表出することを目的として対応。

過去まとめたデータの中からどのテーマがよいか、グループワークを行った。

プレゼンと投票を行い決定。

テーマについて、「親なき後」がテーマとして決まる。

第2回:令和6年8月22日(木)(コア会議:令和6年6月12日(水))

小諸市地域活動支援センターより、事例提供。

一つの事例から、「親なき後の困りごとを出し切る」という形で個人ワーク、グループワーク、
全体共有を行った。

困りごとについて、本人が困っているのか、周りが困っているのかという観点が重要という
意見があった。

第3回:令和6年11月22日(金)(コア会議:令和6年11月8日(金))

グループワークを行った。前回出し合った「困りごと」を「本人の望むこと」に変換をしていく。

前向きに意見が変換できたという意見があった。

第4回:令和7年2月21日(金)(コア会議:令和7年2月6日(木))

佐久圏域自立支援協議会全体報告。

事例検討「〇〇したい!を叶えるには」かなえる手段・アイデアを深めようという形で、

本人の視点でアイデアを変換するグループワークを行った。

佐久市

参加者:市内障害福祉サービス事業所、障害福祉担当課、佐久保健福祉事務所、
基幹相談支援センター

コア会議メンバー:人和会障がい者相談支援センター佐久(主任)、相談支援事業所クラリス(主任)、
佐久市福祉課、基幹相談支援センター

第1回:令和6年7月12日(金)(コア会議:令和6年5月10日(金) 令和6年7月2日(火))

各サービス事業所サービス管理責任者との意見交換、グループワーク。

学習会「よくわかる個別支援計画のポイント」講師:里見氏

グループワークテーマ:意思決定支援と連携について

第2回:令和6年11月12日(火)(コア会議:令和6年9月18日(水))

連携について学習会。その後、テーマごとに連携をテーマにグループワーク。

学習会「あらためて連携について考えてみよう」講師:里見氏

サービス管理責任者、医療分野、介護分野、教育分野での課題を話し合った。

第3回:令和7年2月10日(月)(コア会議:令和7年1月7日(火))

前回の事業所連絡会で行った「連携」についての学習会の中から、「家庭、教育、福祉の連携」に
テーマを絞り学習会とグループワークを行った。

学習会「子どもから大人へ～18歳の春～」講師:関谷氏、竹中Co

○主任相談支援専門員打合せ会議:人材育成ワーキンググループ前に実施。

4月15日(月)、6月17日(月)、8月19日(月)、10月21日(月)、12月16日(月)、2月3日(月)

令和6年度市町村等事業所連絡会開催状況

佐久穂町

参加者:町内障害福祉サービス事業所、障害福祉担当課、まいさぼ信州佐久、地域おこし協力隊、佐久保健福祉事務所、基幹相談支援センター

コア会議メンバー:相談支援事業所らしく、佐久穂町健康福祉課、基幹相談支援センター

第1回:令和6年5月28日(火)(コア会議:令和6年4月9日(火)、令和6年5月9日(木))

- (1)自己紹介
- (2)会の名称検討
- (3)今年度連絡会でしてみたいこと

お互いを知るために、事業所連絡会参加メンバーが各事業所を見学をする。

(令和6年7月30日(火)PM、令和6年8月5日(月)PM、令和6年8月23日(金)PM)

第2回:令和6年8月27日(火)(コア会議:令和6年6月20日(木)、令和6年8月13日(火))

施設見学の振り返りを行った。5ピクチャーズという形式を利用し、「佐久穂町内の連携・関係をさらに深めたい」をテーマに話し合いを行った。

次回は「こういったものがあるといい」という観点から協議を行う予定。

地域包括支援センター、町より権利擁護研修についての連絡があった。

第3回:令和6年11月26日(火)(コア会議:令和6年9月26日(木)、令和6年11月13日(水))

「こういうのがあるといいな」という視点から事前にアンケートを取った。それぞれから説明をしていただき、意見交換を行った。次回は優先順位を付ける等、議題を選定していく方向。

第4回:令和7年2月25日(火)(コア会議:令和6年12月10日(火)、令和7年1月27日(月))

「こういうのがあるといいな」で上がったことを効果が高い、実現性が高い、コストの3つの観点から点数付けをし、検討を進める。優先順位を付けた。

軽井沢町

参加者:町内障害福祉サービス事業所、障害福祉担当課、佐久保健福祉事務所、基幹相談支援センター

コア会議メンバー:浅間学園、軽井沢治育園(主任)、軽井沢町保健福祉課、基幹相談支援センター

第1回:令和6年6月4日(火)(コア会議:令和6年5月1日(水))

- (1)市町村事業所連絡会について
- (2)令和5年度事業所連絡会の振り返り
- (3)令和6年度事業所連絡会について

「かるいざわざわざわ」に参加していくという意見が出た。

期間のうち一日参加し、対話の場やつながる場を提供する方向性。

第2回:令和6年7月24日(水)(コア会議:令和6年7月10日(水))

「かるいざわざわざわ」について、映画「ぼくはうみがみたくなりました」を上映。

合わせてトークセッション、ワークショップを実施。(開催日:令和6年11月2日(土))

児童の相談が多く、相談支援体制についての課題が出された。

第3回:令和6年9月10日(火)(コア会議:令和6年9月3日(火))

「かるいざわざわざわ」の詳細について確認。近況報告を行う。

入所施設の高齢化、児の支援、家族支援についての課題がある。

また、軽井沢町からは福祉サービスの問い合わせが増えていること、相談支援専門員の負担の増、発達障がい相談が増えているという発信があった。

第4回:令和6年10月15日(火)(コア会議:令和6年10月8日(火))

「かるいざわざわざわ」の詳細について確認。近況報告を行う。

第5回:令和6年12月9日(月)(コア会議:令和6年12月4日(水))

令和6年度市町村等事業所連絡会開催状況

「かるいざわざわざわ」の振り返り。

また、「強度行動障がいの方の対応」「くらし支え合いネットの使い方」について意見交換。

第6回:令和7年2月14日(金)(コア会議:令和7年2月4日(火))

本年度連絡会のまとめと来年度連絡会の打ち合わせを行った。

御代田町

参加者:町内障害福祉サービス事業所、やまゆり家族会、医療機関、NPO法人
社会福祉協議会(地域福祉担当)、障害福祉担当課、
佐久保健福祉事務所、基幹相談支援センター

コア会議メンバー:やまゆり作業所(主任)、御代田町保健福祉課、基幹相談支援センター

第1回:令和6年5月15日(水)(コア会議:令和6年4月17日(水))

- (1)佐久圏域各市町村の事業所連絡会について
- (2)令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について
- (3)今年度の事業所連絡会で協議する内容について

第2回:令和6年8月21日(水)(コア会議:令和6年7月24日(水))

- (1)WRAP(元気回復行動プラン)体験

第3回:令和6年11月20日(水)(コア会議:令和6年10月22日(火))

新規事業所の紹介

- (1)WRAPの振り返りと活用
- (2)事業所情報共有
- (3)権利擁護ワーキング 報告

第4回:令和7年2月19日(水)(コア会議:令和7年1月9日(木))

本年度事業所連絡会の振り返り、来年度スケジュールを確認。

また、インシデントプロセス法(事例を用意せず、困りごとにアドバイスをする形)での近況報告を行った。

立科町

参加者:町内障害福祉サービス事業所、障害福祉担当課、佐久保健福祉事務所、
基幹相談支援センター

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム連絡会を兼ねる

第1回:令和6年4月23日(火)

- (1)立科町障がい者事業所連絡会・立科町精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム協議会について
- (2)研修会「こころの病気への理解を深めよう」振り返り
- (3)今年度の活動計画について
- (4)各事業所意見交換

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの取組として、研修会を開催していく予定。

また、個別の案件の事例検討も予定。

第2回:令和6年7月23日(火)

- (1)立科町障がい者事業所連絡会・立科町精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム協議会について
開催時期:11月予定。パネルディスカッション、グループワークが案として提出された。
個別事案については、次回に行うこととした。

- (2)各事業所意見交換

第3回:令和6年10月22日(火)

- (1)立科町障がい者事業所連絡会・立科町精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム協議会について
開催日:令和7年1月17日予定。グループでのディスカッションを行う予定。
ピアサポーターの日常的なこと等を聞いたうえで意見交換をする。

- (2)事例検討 事例提供者:たてしなふれ愛園 西方氏

令和6年度市町村等事業所連絡会開催状況

(3)各事業所意見交換

研修会：令和7年1月17日(金)

「みんなと話をしよう～日常生活の気づきを分かち合う～」

(立科町精神障害にも対応した地域包括ケアシステム学習会)

- ①立科町の障がい者の現状について
- ②ピアサポーター活動について
- ③グループディスカッション

ピアサポーター2名参加。日々の困りごと、日常生活でうれしかったこと等をグループワークで検討。

第4回：令和7年1月21日(火)

- (1)立科町精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 学習会の振り返り
- (2)各事業所意見交換
- (3)来年度の予定について

小海町	川上村	南牧村	南相木村	北相木村	参加者：障害福祉サービス事業所、障害福祉担当課、佐久保健福祉事務所、基幹相談支援センター
-----	-----	-----	------	------	--

コア会議メンバー：すみれ会共同作業所(主任)、南相木村保健福祉課、基幹相談支援センター

第1回：令和6年5月17日(金)(コア会議：令和6年4月19日(金))

- (1)連絡会の位置づけについて
- (2)本年度検討課題について
- (3)事業所間の情報共有

検討課題は、移動支援を中心とする。

第2回：令和6年8月8日(木)(コア会議：令和6年7月12日(金))

- (1)移動支援事業について
各市町村の移動支援サービスの状況
5ピクチャーズを使用してのグループワーク
- (2)その他情報提供について
就労選択支援について

第3回：令和6年11月15日(金)(コア会議：令和6年11月1日(金))

- (1)就労選択支援制度について
令和6年11月11日に開催した就労選択支援勉強会の内容共有
- (2)今後のテーマについて
移動支援について引き続き検討していく(予算・制度設計まで)
次回：他の自治体の優良事例のピックアップ、検討

第4回：令和7年2月3日(月)(コア会議：令和7年1月21日(火))

- (1)移動支援の検討について
【事例紹介】佐久市「デマンドワゴンさくっと」
- (2)その他の取り組み事例について
「ゴイッショ」※ダイハツ工業が行っている、地域での送迎サービス
その他、市町村部会の報告、権利擁護テーマの事業所訪問の報告を行った。

令和6年度 ワーキング等開催状況

人材育成ワーキンググループ

第1回：令和6年4月15日(月)

- (1) 佐久圏域障害者自立支援協議会の運営等について
佐久圏域障害者自立支援協議会の新規ワーキングについて共有。
- (2) 令和6年度人材育成ワーキンググループの活動について
本年度活動内容の共有。また、ワーキンググループを置くかどうか、検討。
ワーキンググループ長については、今後の継続課題となった。
- (3) 令和6年度 相談体制の充実・強化に関わる取り組みについて
相談支援事業所訪問の課題について、共有を行った。前年度までの成果を分析し、本年度からの事業所訪問に活かしていく必要があるという意見が出る。
- (4) 小諸養護学校のグループスーパービジョンについて
本年度の日程について共有を行った。
- (5) 法定研修について
センターで主催する法定研修の実施方法を検討。例年と同様の方法で行う旨を確認。

第2回：令和6年6月17日(月)

- (1) 振り返りと内省について
障害者相談支援センター 宮島恵理子氏より発表
- (2) 長野県部会共有について
長野県人材育成部会・機能強化会議について情報共有。
- (3) 主任相談支援専門員の加算について
本年度の制度改正から地域を担う主任加算が増設されたことについて意見交換。
専従でないと加算申請できないことが課題という意見。
市町村内で役割に揺らぎがあり、どのような役割を担うのがよいのか、話し合い。
- (4) 事業所連絡会・事業所訪問について
本年度の会議内容について、意見集約を行った。質問項目を事前に回答していただき、準備のために事前に送っていただくようにした。

第3回：令和6年8月19日(月)

- (1) 振り返りと内省について
社会福祉法人 小諸学舎 齋藤真理氏より発表
- (2) 長野県部会共有について
長野県人材育成部会・機能強化会議について情報共有。
- (3) 事業所連絡会・事業所訪問について
本年度の事業所連絡会、事業所訪問について共有。
- (4) 地域生活支援拠点等について
令和6年9月6日開催の地域生活支援拠点等の整備に関するコア会議の件について、強度行動障がいの調査項目、体験の場についての意見をいただいた。
- (5) 小諸養護学校 グループスーパービジョンについて
小諸養護学校より、8月20日(火)開催のグループスーパービジョンの情報共有。
- (6) 法定研修振り返りに関して
令和6年8月6日(火)実施の初任者研修のインターバル研修の振り返りを行った。

第4回：令和6年10月21日(月)

- (1) 振り返りと内省について
小諸養護学校 須江沙織氏より発表

令和6年度 ワーキング等開催状況

(2)長野県部会共有について

県人材育成部会の内容共有。令和6年度の主任相談支援専門員候補者として、軽井沢町 原田氏(浅間学園)、佐久穂町 小須田氏(らしく)の2名を市町村から推薦。

(3)事業所連絡会・事業所訪問について

相談支援事業所訪問の相談支援専門員からの質問に対し、返答に悩む場面がある。一巡目の訪問時に出た意見等について、もう少し精度の高い分析が必要ではないか。

(4)権利擁護ワーキングからの報告について

権利擁護テーマの事業所訪問を始めているが、監査ではないため相手方への伝え方が難しい部分がある。

(5)法定研修について

(6)その他 西駒郷のケース共有

第5回:令和6年12月16日(月)

(1)振り返りと内省について

障害者相談支援センター 内堀綾美氏より発表

(2)長野県部会共有について

現任研修についての情報共有。人材育成部会の内容共有を行った。

(3)事業所連絡会・事業所訪問について

各市町村、事業所訪問について、情報共有。

(4)権利擁護ワーキングからの報告について

(5)法定研修について

法定研修の振り返りを行った。来年も同様に進行していく旨を確認。

(6)本年度のまとめについて

主任の存在感をアピールすること、繋がりを作る工夫をしていく。
圏域内の情報交換、地域づくりの情報共有の場として有効である。
主任になる方の準備する場としての位置づけも必要である。
地域を指導していく職員を育てる工夫が必要である。

第6回令和7年2月3日(月)

(1)長野県部会との共有について

機能強化会議について内容共有を行った。

(2)事業所連絡会・事業所訪問・ワーキングについて

各市町村、事業所訪問について、情報共有。

事業所連絡会やワーキングのあり方と協議会への繋ぎ方、主任と基幹との役割等について協議を行った。

(3)権利擁護ワーキングからの報告について

(4)全体会の議題について

臼田学園の閉園、就労選択支援、発達障がいワーキング設置についての内容共有。

(5)来年度の計画について

振り返りと内省については省略。人材育成ワーキングの協議方法についての検討。
来年度の日程の確認。

(6)その他

令和6年度 ワーキング等開催状況

精神障がい者ピアサポートワーキンググループ

コア会議メンバー:佐久保健所、佐久保健福祉事務所、基幹相談支援センター

第1回:令和6年5月30日(木)(コア会議:令和6年4月26日(金))

- (1)ワーキングの目的と運営について
- (2)精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム研修会について
昨年度の研修会の振り返り
今年度の予定について
- (3)ひとり暮らしの体験の場について
体験の場のニーズを拾うためのアンケート調査を実施していく
- (4)ピアサポーター養成研修について
ピアサポーターの意義について確認

第2回:令和6年7月19日(金)(コア会議:令和6年7月3日(水))

- (1)長野県ピアサポート研修の動きについての確認
- (2)精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム研修会について
企画案について検討

第3回:令和6年9月30日(月)(コア会議:令和6年9月20日(金))

- (1)精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム研修会について
スケジュールと内容の決定
- (2)ひとり暮らしの体験の場について
アンケート調査の項目や内容の検討

第4回:令和6年11月13日(水)(コア会議:令和6年11月6日(水))

- (1)精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム研修会について
「(地域を家のリフォームに例えた)グループワークによる地域アセスメント」
講師より具体的な進め方についての説明
- (2)ひとり暮らしの体験の場について
アンケート調査項目と内容の最終確認
- (3)ピアサポーター養成研修の在り方・考え方について検討

第5回:令和7年2月6日(木)(コア会議:令和7年1月29日(水))

- (1)精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム研修会について
- (2)入院者訪問支援事業 入院者支援員養成研修について
- (3)佐久圏域における精神障がい者支援の現状について
- (4)体験の場について

地域生活拠点等の整備に関するコア会議

第1回:令和6年9月6日(金)

佐久圏域における地域生活拠点等の整備状況、くらし支えあいネットについての概要と状況報告。

(1)地域生活拠点等の課題について

- ①強度行動障がいの定義について
- ②強度行動障がいの研修について
- ③中核的人材及び広域的支援人材について

(2)体験の場について

(3)その他

- ①西駒郷入所利用者状況報告

第2回:令和7年1月20日(月)

佐久圏域における地域生活拠点等の整備状況、くらし支えあいネットについての概要と状況報告。

(1)地域生活拠点等の課題について

- ①入所調整会議について
- ②くらし支えあいネット緊急受入体制の当番について
- ③強度行動障がいの方の支援体制について

(2)その他

医療的ケア児等支援体制検討会

第1回:令和6年5月24日(金)

- (1) 佐久圏域障害者自立支援協議会と今年度の活動計画等について
- (2) 令和6年度の検討会予定について(各グループより)
社会的理解啓発、他分野連携、保護者の集まりの場、看護師研修会、医療機関連絡会保護者の集まりの場:佐久圏域内の医療的ケア児者・重症心身障がい児者の保護者に向けた集まりの場についてのアンケートを実施。6月上旬にお知らせを関係機関へ配付し、8月末を締切として回答を集計し公表する。
- (3) 事業紹介:小諸市児童発達支援センターひまわり園

第2回: 令和6年7月26日(金)

- (1) 事業紹介:らいおんハートからだの児童デイサービス佐久南
- (2) 各グループの実践内容について
看護師研修会:8月9日開催、災害時個別避難計画作成に係る研修会について
情報交換会の内容について・集まりの場アンケートについて
医ケア児のご家族向けのパンフレットの作成についての検討
- (3) その他 キッズケアチャレンジさくについて

第3回: 令和6年9月27日(金)

- (1) 事業紹介:さく発達相談支援センター
- (2) 各グループの実践内容について
保護者の集まりの場:8月末締切のアンケートの集計結果の公表について
看護師研修会:地域の学校看護師等が集まれる場の提供を検討
医療機関連絡会:レスパイトを実施している医療機関を対象に連絡会を開催。
12月中下旬で日程調整。

- (3) 令和6年8月9日、災害時個別避難計画作成に係る研修会の振り返り
- (4) その他 キッズケアチャレンジさくについて、福祉用具リサイクルについて

第4回:令和6年12月26日(木)

医療型短期入所(レスパイトサービス)に関する関係機関連絡会
浅間病院、小諸高原病院、ほっちのロッジの文庫、佐久医療センターの小児科医・看護師長・MSW等が参加。Web開催で各医療機関での医療型短期入所受入れの現状と課題を共有した。
令和7年1月24日(金)医療的ケア児等支援者情報交換会 Web開催
「医療的ケア児の公立小学校での教育実践報告」

第5回:令和7年2月28日(金)

- (1) 事業紹介:佐久医療センター小児科
- (2) 今年度のまとめ
- (3) その他 次年度の体制について